

知るところから、はじめよう

# イノシシの人身被害を防ぐために



## イノシシ

古来から日本に生息する  
ブタの原種

### 【鼻力（はなぢから）】

イノシシの嗅覚は、犬と同じくらい敏感です。

鼻先を人間の手のように使って

初めて見たモノを調べたり、  
重いものを持ち上げます。

ちなみに、ある実験では

「70kgの障害物を、  
鼻先で持ち上げた」

という記録があります。



### 【弱者としての知恵】

イノシシはオオカミや人間に「狩られる側」の動物なので、本来はとても慎重に行動しています。

その一方で、慣れやすいのもイノシシの特徴です。

いちど「安全だ!」と判断すると、物怖じせず  
に行動します。



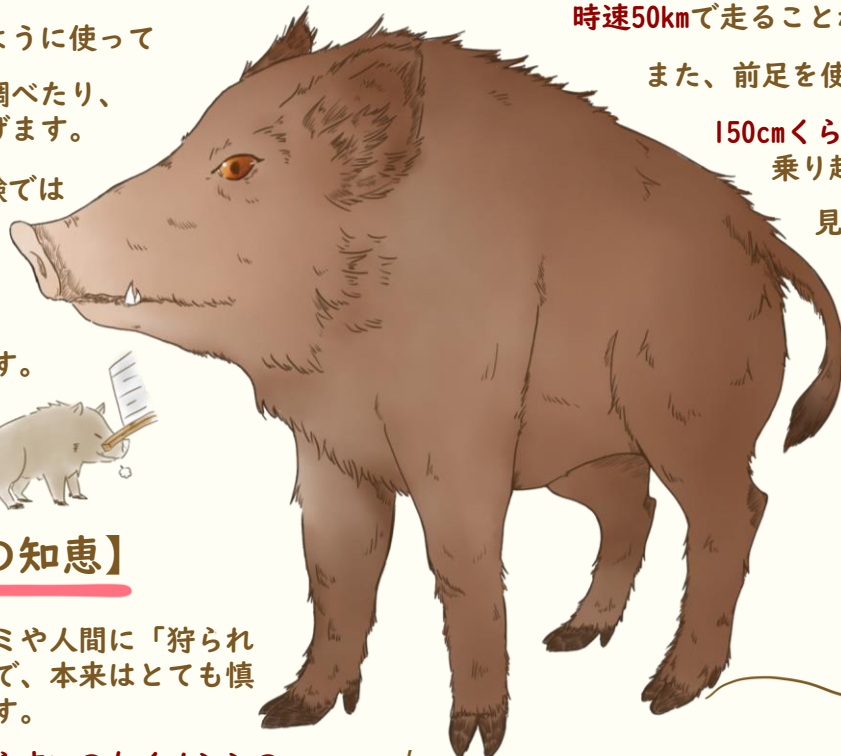
### 【ずんぐりとした体でも】

時速50kmで走ることができます。

また、前足を使って

150cmくらいの高さの障害物を  
乗り越える事もあります。

見た目に反して、  
俊敏な動物です。



### 【“夜行性”はデマ?】

イノシシは基本的に昼間に行動する動物です。

できるだけ人間との遭遇を避けるため、  
夜を選んで人里に近づく事から

「イノシシは夜行性」という誤解が生まれました。

### 【驚異の増加力】

メスは1~2歳で成熟し、ほぼ毎年4~5頭の仔を産みます。

その増加率は高く、1年で1.6倍増えると言われており、

環境が良ければ5年で10倍以上に増える能力をもっています。



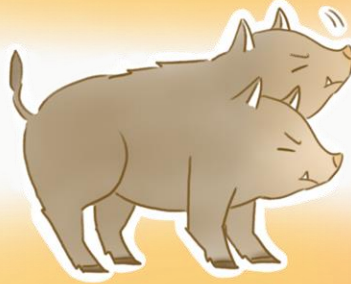
## 【イノシシの興奮度】

イノシシは基本的に臆病な性格ですが、キケンが迫ると攻撃的になります。出会ってしまった時には、イノシシの様子を見ながら対応する事が大切です。



【毛を逆立てる】

人のことを警戒している状態です。ゆっくり離れましょう。



【頭を振る、鼻を鳴らす】

人に対して威嚇しています。もし近付いてきたら、落ちて道を通りましょう。



【歯を鳴らす、地面をかく】

興奮して危険な状態です。すぐ隠れるか、防御姿勢を取ります。

### 【イノシシが落ち着いているとき】

#### ・刺激しないで、ゆっくり距離を取る

叫んだり、攻撃するのはやめましょう。落ち着いて距離を取るのが鉄則です。

ただし、イノシシが進もうとしている方向に人がいると、イノシシが突進して押し通ろうとする事があります。

イノシシが進もうとしている方向を自分が塞いでいるなら、横にどいてあげるようにしてください。

#### ・高い場所に登る / 物陰に隠れる

イノシシが襲ってきたとき、確実に身を守る方法は高い場所に登る事です。

登れる場所がなければ、イノシシがまっすぐ突撃できないよう、物陰に隠れてください。

車に乗っていたなら、そのまま静かに停車し、イノシシをやり過ごしてください。

### 【最終手段は防御姿勢！】

興奮したイノシシが至近距離にいるときは、**防御姿勢**をとりましょう。手で頭と首を守り、身体を丸めて急所を隠します。



しかし、最善の対策は「遭わない事」。事前の対策を徹底し、イノシシに遭わないよう十分注意してください！

### 「事前の対策」って？

ご家庭の近くを「動物が好まない環境」にする事が大切です。果樹や生ごみの処理を徹底し、見通しの悪いヤブを刈り払いましょう。

イノシシが出そうな場所に行くときは朝・夕方の単独行動を避け、音を出してイノシシに自分の存在を知らせながら歩きましょう。

イノシシにエサを与える行為は、絶対に行なってはいけません。

